

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・エコカー購入補助金制度の最終駆け込みがあり、8月 は前年の2倍程度の売上が期待できる。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・エコカー購入補助金制度の政府予算超過が見込まれる中、販売会社各社が補填対策を打ち出して駆け込み需要の取り込みを図っており、予想以上の成果が出ている。
		乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・エコカー購入補助金制度が9月末で終わるため、駆け込み需要が発生している。当社の8月の販売は、この10年で最高の数字となっている。
	やや良く なっている	一般小売店〔酒 類〕（経営者）	来客数の動き	・業務店での客数が増えている。特に鍋焼きラーメンの店が顕著である。高速道路無料化実験の効果とみられる。
		一般小売店〔菓 子〕（総務担 当）	来客数の動き	・客単価は低いものの、購買意欲は回復している。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・客数、売上共に回復している。気温の高い日が続いたことで、飲料、アイス、惣菜等が売上を押し上げている。
		スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・猛暑の影響で商品の動きが非常に良くなっている。特に飲料は前年比で2割以上伸びている。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・客単価は低下しているものの、来客数が増加しており、売上は前年並みとなっている。これまでは早朝時間に来店する現場作業員客層が落ち込んでいたが、最近では増えている。
		コンビニ（総 務）	来客数の動き	・梅雨明け以降猛暑の影響もあり、客数は2か月連続で前年比プラスとなった。また、売上は15か月ぶりに前年比プラスとなった。
		衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・猛暑の影響からか、ポロシャツやTシャツといったカット物が、前年、また先月と比較しても非常に好調であった。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・暑さの影響もあり、エアコンは台数が前年比で178.5%、また金額も172.6%となっている。冷蔵庫についても、販売単価は低いものの、販売数の増加により、金額ベースでは前年比で100.23%となっている。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・エアコンが牽引役となって、幅広いカテゴリーで販売数が増えている。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・7月以降は前年比での落ち込みが鈍化している。昨年の7月以降、売上・客数共に大きく落ち込んだ反動もある。気温の上昇に伴い、飲料等の需要も多かった。
		都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・毎年の季節要因であるよさこい祭りに加え、今年はNHK大河ドラマの影響が非常に大きい。例年であれば盆明けから客足が鈍るが、今年は最終週末まで来客数が多い。
		旅行代理店（支 店長）	販売量の動き	・円高の影響もあり、夏場の海外旅行の販売が、前年の120%強と好調である。特にヨーロッパやオセアニア方面等、遠方かつ高単価の客が多い。
通信会社（企 画）	お客様の様子	・本来、加入者数が減少する時期にもかかわらず、伸びている。		
観光名所（職 員）	来客数の動き	・入場者数が前年同月比で、5%近く伸びている。		
変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・猛暑の影響か、人出が少ない。	
	商店街（代表 者）	来客数の動き	・NHK大河ドラマの影響で、多くの観光客が入ってきている。6月の商店街通行量調査では、昨年比10%以上増加との発表もあった。特に夏休みとなった8月は多かった。	
	一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	販売量の動き	・依然として消費者の財布のひもは固い。ディスカウントストアやスーパーの底値を知っているせいか、一般小売店は厳しい。	
	一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	販売量の動き	・外商の売上は持ち直してきており、前年を上回っている。しかし店売が足を引っ張り、全体の売上は前年を下回っている。	

	百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月比で来客数は増加したが、売上高は若干減少した。商品別では、ファッション関連（特にヤング向け）やブランド商品が健闘し前年を上回ったが、宝飾品および美術品等が苦戦した。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・来客数は少し回復してきたが、売上点数・金額面でまだまだ回復に至っていない。
	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・例年であれば8月後半より秋物が動いてくるが、今年は猛暑が続き、秋物が動かず来客数・売上高ともに苦戦が続いている。また、客も商品を「見に来る、買物に来る」という動きではなく、「暑いので涼みに来る」という感じの方が多くみられた。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・NHK大河ドラマ効果もあって、お盆時期に多くの観光客が見込まれ、売上も増加すると予測していたが、高速道路の料金設定の影響（上限千円が土日のみ適用）で、期待したほどには高知への流入がなかったとみている。
	衣料品専門店（副店長）	お客様の様子	・本来は秋物の時期であるが、猛暑続きで客が動かない。また、盆明けで、お金の動きが少し悪くなっている。
	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・猛暑の影響もあり、商店街店舗の来客数は平年より減少した。8月の購買客数も前年比で10%程度減少した。
	家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・8月後半から来客数が平年並みまで下落している。テレビに限らず、全体的に大型商品を見る客が減っている。テレビは、2台目、3台目を購入する客が大半であり、購入商品も小型が多い。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・夏休み、お盆で街中に人が寄るにつれ、前年並みの売上は確保された。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・四国はNHK大河ドラマなどの良い条件もあるが、宿泊客が伸びず、昨年並みである。景気が良くなならないことも影響している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・高知はNHK大河ドラマの影響もあって、週末等の客入りは通常より多くなっている。しかし、高速道路料金引き下げ等の効果で自家用車の乗り込みが多く、タクシーにとって恩恵は少ない。
やや悪くなっている	一般小売店〔乾物〕（店員）	来客数の動き	・猛暑で外出する人が少ない。
	スーパー（財務担当）	単価の動き	・客数は、なんとか前年を若干下回る程度であるものの、客単価はそれ以上に減少している。競合出店の増加、価格下落商品の増加などが相まって、改善する状況にはない。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー購入補助金制度の対象車両について、9月中に登録可能な販売は、ほぼ終了した。
	タクシー運転手	来客数の動き	・今年の猛暑は、近くでもタクシーに乗る状況と思えるが、実際には乗ってもらえない。景気が悪い証拠であろう。夜も飲みに出る人が少なく、益々悪くなっているように感じられる。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・予約率が落ちてきている。単価も下落している。
	競艇場（職員）	販売量の動き	・8月の売上は、前月比で22%減少、3か月前比で24%減少、そして前年比では40%減少している。この時期の稼ぎ頭であるお盆レースでさえ、前年比28%減少となっている。
	設計事務所（職員）	それ以外	・公共事業の縮小は予想以上で、受注額は前年比で2～3割低下している。住宅品質確保促進法で地方の企業は受注しづらい状況が顕在化してきており、夏のボーナスが出ていない同業者も少なくない。家計にコスト意識が高まっており、遊興費や嗜好品を抑えている。昼食の外食が減り、弁当への移行がその一例とみられる。
悪くなっている	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー購入補助金制度の9月打ち切りの影響が明らかに始めている。8月の登録・納車は例年より多いものの、9月以降の登録扱いとなる受注件数が極端に不足している。当業界の景気は確実に悪い方向に動いている。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・猛暑で外出を控えている中高年齢層が多いのか、前年同月比で来客数、客単価共に減少している。

企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・7月、8月と猛暑の影響もあり、一部商品に欠品が できるほど販売は順調である。小売店もおおむね活況で ある。
		木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・戸建ての着工数が増えている。また、当社の得意先 の状況も非常に良い。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・円高や政局不安定など、誰も助けてくれない状況下 で、たくましい人たちが増えた感じがする。それが販 売量の増加等に繋がっている。
	変わらない	食品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・良い製品と悪い製品の差がはっきり出ており、受注 量は波があるものの、全体的には販売量は増してい る。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・売上の伸びない状況が続いている。得意先からは値 下げ要請が強く、値引き幅は増大している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・地域の差はあるものの、国内は依然として受注競争 が厳しく、価格面での競争が激しい。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・最近では、電機、製紙、印刷など、従来とは異なる分 野からの注文が来るようになった。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体に工事が少なく、受注が全然伸びない。
		通信業（営業担当）	それ以外	・今年夏の記録的な猛暑の影響で、飲料製造業者から は、販売額が前年7月比でミネラルウォーターは 30%、スポーツドリンクは60%増加し、8月も継続し ていると聞く。また、大型スーパーの経営層からは、 晴雨兼用パラソル、帽子が前年比20%増加し、夏物 セールの人気が継続していると聞く。一方で、友人達 からは、円高・株安で資産がどんどん目減りし、節約 をしなければとの暗い話題が多く、景気の先行き不安 も強く感じる。
通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・季節的要因もあり受注活動は比較的落ち着いてい る。量的拡大が望めない中で、引き合いに対する価格 面での競合が厳しい。成約案件でも利益拡大につな がらない状況である。		
公認会計士	取引先の様子	・8月の取引先の決算状況からでは、景気は良くなる とも悪くなるとも判断できない。前年比で売上、利益 面で改善されている状況にはない。		
やや悪く なっている				
悪く なっている	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・中規模工事の入札で、立て続けに落札できなかつ た。赤字が出ないギリギリの金額では、まず受注でき なくなっている。競争相手は、相当に無理をして赤字 覚悟の値決めをしてきているものと思われる。	
	輸送業（支店長）	取引先の様子	・取引先が生産調整を図っており、当社は輸送稼働日 数の減少を余儀なくされている。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・雇用・能力開発機構より「基金訓練」事業を受託し た。9月より、雇用保険が受給できていない人を対象 に、職業訓練校「SPCキャリアカレッジ」を開講す ることで（定員60名に対し55名でスタート）、従来の 企業の採用支援事業に加え、求職者の就職支援事業も 開始できる。
	変わらない	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者の減少が7月から続いている。事業主都 合による離職者の減少が要因の一つであるが、新規採 用も同様に減少している。
		民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・求人企業数が昨年比でかなり低下しており、特に製 造業は中途採用を手控える傾向にある。また、食品産 業は、うどん・パンが下火傾向にあり、土曜日、日曜 日の売上が激減している。
学校〔大学〕（就職担当）		求人数の動き	・7月の求人増加状況から、秋採用に向けてもう少し 増えると予想していたが、8月は思いのほか求人数が 伸びず前年同期に比べても減少している。しかし、県 内求人に限ると7月比では半減したものの、前年同期 比では若干ながら増加している。	

やや悪くなっている	新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	周辺企業の様子	・エコカー購入補助金制度に支えられていたカーディーラー関連が不透明になってきた。また、新規開店などもほとんど見受けられない。集客力のある大手ショッピングモールにしても、週末扱いの求人が少ない。
	職業安定所 ( 職員 )	求人数の動き	・求人について、一般では7月よりさらに鈍化し、パートは数値こそ上回っているものの、国の緊急雇用対策によるものである。それ以外での求人数は増えていない。
	職業安定所 ( 職員 )	それ以外	・7月の有効求人倍率は0.54倍で、3か月前より、0.01ポイント下回った。
悪くなっている	-	-	-